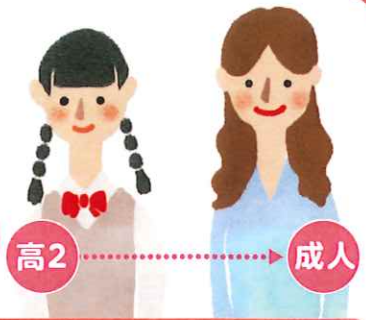


高校2年生以上の女の子 と成人女性の方へ

1997年4月2日～
2009年4月1日生まれ



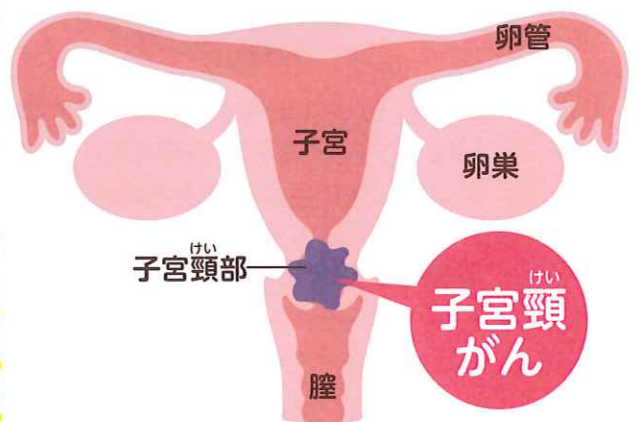
「子宮頸がん」を「HPVワクチン」で予防しましょう

子宮頸がんって？

女性の子宮の入り口付近にできる「がん」で、日本では20～40代の女性を中心に毎年約1.1万人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約3,000人が亡くなっています。また、患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も少なくありません。

子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるもので、HPVワクチンを接種することで子宮頸がんの50～90%を防ぐことができると言われています。接種した人も20歳をすぎたら子宮頸がん検診を受けましょう。

子宮頸がんはどこにできるの？



約8割の女性が一生に一度はHPVに感染



年間約1.1万人が新たに診断



20～40代女性に多い



定期的な検診でがんになる手前で発見することができます



HPVワクチンについて

17歳以上で接種した成人女性でも約53%の予防効果

世界120カ国で接種されている安全なワクチン

ワクチンを受けた後に、注射した部分の痛み、腫れ、赤みなどが起こることがあります。気になる症状があれば、接種した病院や周りの相談窓口へ相談してください。

詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口へお問い合わせください

発行：高知県健康政策部健康対策課(予防接種担当) Tel.088-823-9677

作成：高知県健康政策部健康対策課 協力：高知県医師会、高知大学医学部附属病院(HPV予防接種拠点病院)

高知県HPVワクチンの
定期予防接種について▶



1997～2008年度 HPVワクチンを **無料** で接種できます
 生まれの女性は **2026年3月末まで**

2025年3月末までに1回以上接種した方は、
 2026年3月末まで全3回を無料で接種できます。



**2025年
 3月末までに
 1回目の接種を!**

接種の手順



1 予防接種について
 お住まいの市町村予防接種担当窓口などでHPVワクチンの予診票の受け取り方を確認。高知県以外に住民票がある場合は、住民票がある自治体へ接種について確認を!
 (償還払い制度を受けられることがあります)

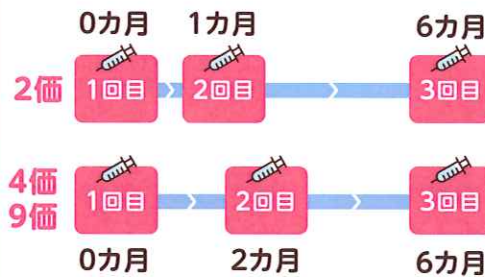


2 予約
 医療機関に電話をし、ワクチン接種の申し込み。



3
 当日は医療機関から指示された書類を持参して受診。(予診票、母子健康手帳、健康保険証など)

接種間隔



接種完了には6か月かかります

- 接種は合計3回必要で、完了するまでに6か月間かかります。
- 全3回を無料で接種するためには、**2025年3月末までに1回目**を受けることが必要です。
- 9価ワクチンで15歳の誕生日の前日までに1回目を接種している場合は、6か月の間隔を空けて2回目の接種で終了となります。

接種後に体調をくずしたら

もし接種後に気になる症状がある場合は、接種した病院や周りの相談窓口へ遠慮せずに相談しましょう。

●総合的な相談窓口

高知県健康政策部健康対策課 連絡先:088-823-9677

※相談の内容に関わらず、相談者のニーズに応じた適切な対応ができる機関につなげる窓口
 受付:月～金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)

●学校生活に関する相談窓口

高知県教育委員会事務局保健体育課 連絡先:088-821-4928

※通学、学習、進級、進学に関する相談などに対応する窓口
 受付:月～金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)



詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口へお問い合わせください
 発行:高知県健康政策部健康対策課(予防接種担当) Tel.088-823-9677

高知県HPVワクチンの定期予防接種について

